

道徳の時間推進たより

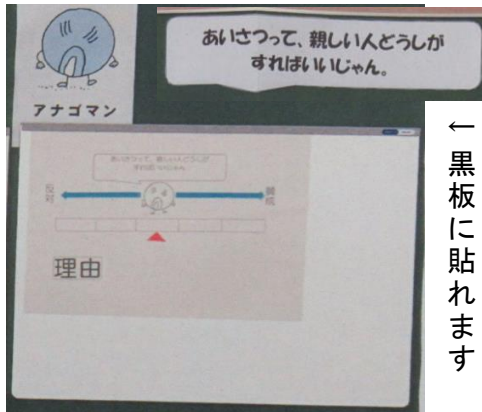
道徳の時間推進部
古寺 亜希子

白水先生の道徳師範授業がありました

6月11日(木)2年8組にて、白水先生の道徳師範授業がありました。2年生の道徳の教科書の「あいさつ」を題材に、「あいさつや礼儀の意義を考えるを通して、時と場に応じて主体的に適切な言葉遣いや行動をとろうとする意欲や態度を育てる」ことをねらいとした授業でした。

今回は、授業で白水先生が使われた「まなボード」を紹介します。「先生、あいさつって親しい人どうしがすればいいんじゃないですか」という意見についてどう思うか、小グループで考える際に使われていました。ホワイトボードの上に透明のフィルムが貼ってあるので、準備した紙をはさんで、その上から書き込むことができます。この授業では賛成・反対の数直線と、赤い三角マークが用意されており、生徒たちは三角マークを動かしながら議論を深めていました。

“まなボード”は現在、資料室にあります。大きなサイズが10セット・小さなサイズが10セットあります。他にも色々な使い方が出来そうなので、ぜひ活用されてください！



← 黒板に貼れます



← 資料室にあります



第1回 筑紫地区中学校道徳教育研究会 報告①

6月12日(金)、筑紫区中学校道徳教育研究会が那珂川南中学校で行われました。何回かにわけて、研修内容を報告します。

○中学校の道徳の課題

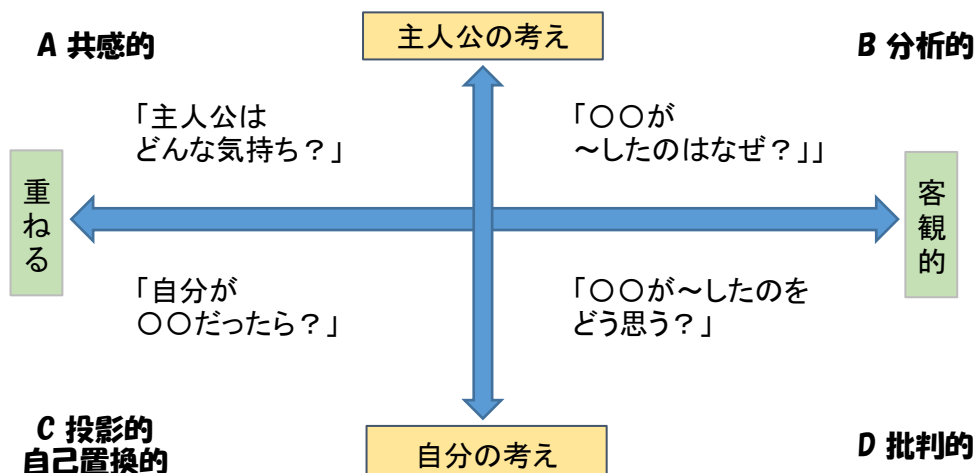
中学校の道徳の課題は4つです

- 1 発問の答えが読み物に書いてある
- 2 一問一答で次に続かない発問
- 3 あらすじと学習過程と板書が一緒
- 4 先わかりする・学ぶ必然性がない学習内容

1の問題はちょっとした工夫で解決します！

先生が発問すると、生徒は一生懸命教科書を読んで、「正解」を探そうとしますね。そうならないように、**資料を一度読んであらすじを確認したら、教科書やプリントを机の中に片付けさせましょう！** 最初に読んだ印象をもとに、自分の言葉で考えることになります。

2の問題の、「発問」についてヒントをいただきました！



道徳の時間の発問は、基本的にこの4パターンで良い、ということです。発問を考える際の参考にしてください！

次号は4の問題について。「問題解決的な道徳の学習」のお題を紹介します。どうぞ楽しみに！